



宮崎県 有限会社大塚園

『有機栽培茶を世界へ』

【主な品目】

煎茶、碾茶

【主な輸出先国・地域】

ドイツ、米国、スイス等

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成26年からスイスへ煎茶の直接輸出を開始し、現在では茶商経由でドイツや米国にも輸出。
- ◆ 海外の健康志向が強い層をターゲットに、引き合いが強い有機碾茶に絞って輸出を展開。面積を拡大し、病気に強く消費者に好まれる味の良い品種への転換に取り組んでいる。

【輸出実績】（平成26年度から輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和6年度	2,240.0	28.0	通年
令和5年度	771.0	14.5	
令和4年度	36.6	0.1	

【効果があった取組】

各種のイベントに参加したことで、スイスへ直接輸出を開始することができた。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 海外富裕層では有機抹茶の需要があるが、原料の有機JAS認証の碾茶が不足。
- 2 抹茶の原料である碾茶の加工機械・施設の整備が必要。
- 3 海外へ輸出する際の現地パートナーの開拓。

【生じた課題への対応】

- 1 令和4年3月から19.2haを有機栽培に転換。
- 2 令和7年3月に、国の補助事業「農産物等輸出拡大施設整備事業」を活用して碾茶加工に必要な機械・施設を整備。
- 3 SNSを活用し、英語表記で自社をPRするサイトを制作。

【対応の結果】

- 1 有機栽培に転換したほ場について、令和7年4月に有機JAS認証を取得。
- 2 機械・施設を整備できたことで、碾茶の加工が可能となった。
- 3 問い合わせが増加し、海外から訪問を受けるほどとなり、販売先の開拓に役立った。

【今後の課題・展望】

- 1 今後、栽培面積を30haに拡大し、碾茶に絞って輸出。
- 2 栽培面積拡大に相応する冷蔵保管施設の整備。
- 3 宮崎から海外へつなぐ新たな商流を検討。



抹茶の原料となる碾茶



抹茶

【活用した支援・施策】(国)農産物等輸出拡大施設整備事業(令和5年度補正)、(公)農業経営基盤強化資金

【ウェブサイト】<https://otsukaen.com/>

【連絡先】担当者名：大塚 一郎、TEL：0983-27-0352